

文化・芸術

「hide in stream」

2022年、木版(水性凸版)・和紙
90・0枚×70・0枚

佐野広章 (1972年)

大川美術館では2020年から毎年、「桐生のアーティスト」と題して、桐生出身あるいは在住のアーティストたちによるグループ展を開催しています。今年も10月7日から、「桐生のアーティスト2023 KIRYU Days」を開催します。

そして今回は、同時開催として「特集展示・桐生のアーティスト大収穫祭」と題し、これまでこのグループ展に参加願ったアーティストたちの作品も展示します。

佐野広章氏は、昨年の「Natural Mind and Natural Color」展の出品アーティストで、桐生大学短期大学のアート・デザイン学科で学生たちを指導しています。版画の繊細さと深さを、技巧を凝らした多色刷りから生まれる抽象表現で探求しています。

ちょうど市内のギャラリー象(かたち、本町一丁目1の3)では新作を含めた個展を開催中。(9月28日まで)古民家を改装したギャラリーの空間で、穏やかな音楽に浸るように、透明感のある作品の数々に包まれてみてください。

(田中)

大川美術館「特集展示:桐生のアーティスト大収穫祭」から

《名画の扉》

